

2014年（平成26年）9月

# おたる 西別院だより

季刊 第110号



報恩講の夜

## 小樽別院・各説教所の報恩講の日程

- 小樽別院……………10月13日(月)～16日(木)
- 法友会(新光説教所)……………10月24日(金)・25日(土)
- 樹心会唯信講(奥沢説教所)……………11月2日(日)・3日(月)

10月13日(月)から17日(金)まで、月忌参詣をお休みさせていただきますので、どうぞお寺にお参りください

# 報恩講師法話

「みんなちがって みんないい」

この言葉は、金子みすゞ童謡集に出てくる「わたしと小鳥とすずと」の言葉です。

## わたしと小鳥とすずと

わたしが両手をひろげても  
お空はちっともとべないが  
とべる小鳥はわたしのよう  
地面をはやくは走れない  
わたしがからだをゆすっても  
きれいな音はでないけど  
あの鳴る鈴はわたしのよう  
たくさんな歌は知らないよ  
鈴と小鳥とそれからわたし  
みんなちがって、みんないい

金子みすゞは一九〇三年四月生まれです。

一九三〇年三月、二六歳の若さで亡くなりました。五一二編の童謡を残して。

みすゞの楽しく優しくそして悲しい、豊かな感性にあふれた童謡に出会う時、心が揺さぶられます。

さて、現代社会を観ますと、自分(達)と異なるものに対して、排斥したり、攻撃したりしています。独善的です。恐怖を感じます。

戦争、テロ、いじめの背景にこのような考えがあるように思えます。

しかし、みすゞは「みんなちがってみんないい」とうたっています。

さて「仏説阿彌陀經」に極樂浄土には、大きな蓮の花が咲いており、赤い花びらからは赤い光が出ていて、青い花からは青い光が、白い花からは白い光が、黄色の花からは黄色の光が放たれています、とあります。

この経典はまるで童謡のような感性(こころ)豊かな世界が描かれています。

あらゆる物にはそれぞれの働き、それぞれの役割、それぞれの特徴(個性)が有り、それぞれが異なる光を放っているのです。

みんなちがってみんないいのです。



北海道教区  
上川南組 永樂寺住職

永江 竜心師

## ■表紙について

年に一度の報恩講。朝は日が昇る前、5時頃から準備のため婦人会の方々は集まってください。夜は6時から法要に備え、提灯に灯りを点します。この灯りを辿って先人達はお参りに来てくださったのでしようか。お寺に布団を持ち込んで泊まりがけで参拝したくださった方々のお話を聞かせていただくと、温かい気持ちになるとともに、頭の下がる思いであります。(写真は昨年(2013年)の報恩講に撮影したものです)

報  
恩  
講  
ほうおんこうとは？

報恩講とは親鸞聖人のご命日にあたって、親鸞聖人のご恩を偲び、そのご苦勞を通じて、阿彌陀如来のお救いをあらためて心に深く味わわせていただく法要で、浄土真宗では一番大切にされていきます。  
お念仏のみ教えをその生涯をかけて伝えてくださった大きなご恩に対して、私たちに出来ることはただそのみ教えを今一度聞かせていただくより他はないという思いで、報恩講を迎えたいものです。



## 平成26年度 報恩講日程表

期日	時間	法要・行事	布教（御法話）
10月13日(月)	午後 1時 30分	○逮夜法要 御伝鈔上巻拝読	布教 40分
10月14日(火)	午前 6時 30分 午前 10時 午後 1時 30分	○晨朝勤行 ○日中法要 ○逮夜法要 御伝鈔下巻拝読	布教 30分 布教 40分 布教 40分
	午後 6時	○初夜勤行 祖徳讃仰	崇敬法中 30分 布教 30分
10月15日(水)	午前 6時 30分 午前 10時	○晨朝勤行 ○日中法要 物故者追悼法要 お齋（お食事）	布教 30分 布教 40分
	正午 午後 1時 30分 午後 6時	○大逮夜 御俗姓拝読 ○初夜勤行 祖徳讃仰  後夜勤行	崇敬法中 30分 布教 30分
10月16日(木)	午前 6時 30分 午前 10時	○晨朝勤行 ○満日中	布教 30分

ながえ りょうじん  
報恩講講師 永江 竜心 師

（北海道教区上川南組 永樂寺住職）

# 「おあさじ」百日参拝のご報告（八月八日）

ご存じでしたか：小樽別院では毎朝午前6時半から晨朝（じんじょう）、「おあさじ」とも言います）をおつとめしています。一年365日です。

今から500年昔、本願寺第八代宗主蓮如上人は親鸞聖人の書かれた「正信偈」を念仏・和讃と一緒に読誦する法要の形式を定められました。以来、朝夕にこのおつとめをするのが真宗門徒のしきたりとなりました。すがすがしい朝の静けさの中、声高らかに正信偈をおつとめして御文章、法話を聞き、お念仏とともに一日をスタートするのは心身ともに健康的です。

でも毎日は大変なので、せめて気候のいい春から夏の間だけでもお参りしていただくという趣旨で、今年も「百日参拝」を5月1日から8月8日まで実施し、別院、奥沢説教所、新光説教所で多くの方々に参拝いただきました。

今年も双葉高校からも生徒さんが参拝して下さいました。終了式では皆勤賞（9割以上参拝）7名、精勤賞（8割）3名、特別賞（5割）3名、努力賞5名に記念品をお贈りいたしました。百日参拝が終わっても、引き続き、毎朝の「おあさじ」に参拝されるご門徒さんが勿論、おられます。

## あなたも「おあさじ」にお参りしませんか？

・毎朝6時半から小樽別院本堂

＊お経本の貸し出しがあります。念珠と式章を持参下さい。



8月8日参拝者の皆様と記念撮影



# お寺の可能性

二〇一四全国真宗青年の集い北海道大会

七月二十六・二十七日 於 札幌別院

## テーマ「大自然―仏青よ未来を描け」

お寺には婦人会と壮年会、それに青年会があります。北海道教区の仏教青年会は門信徒会員が主体となり活動し、それを僧侶・寺族が支える形で現在に至っています。

その集大成として、去る七月二十六日から一泊で全国の青年会の会員が集う全国大会が札幌別院で開催されました。海外からの留学生を含め参加者およそ百八十人！

ドラマ「北の国から」をモチーフに浄土真宗の教えに沿った解釈を加えた朗読劇や、服飾の専門学校に依頼



して、衣裳からモデルまでお願いして実現した仏前結婚式の新機軸とファッションショー。翌日は太平光代さんの講演会。波瀾万丈の生涯から更正し

弁護士や大阪市の助役という重責の中で自身の限界を知り、浄土真宗のみ教えを学ぶ中に、人生の指針となるべきものとの出会いについて講演をいただきました。

最後にグループ単位での話し合いを持ち、お寺の可能性について参加者が語り合いました。

「一年ぶりだね」と顔を合わせる九州と北海道の仏青の会員の笑顔や、「今から未来へ種を蒔こう」という強いメッセージ。ここは高校生から社会人まで年齢も職業も超えた仲間の集まる場所なんだということを改めて感じました。

現在小樽別院の青年会は活動休止に近い形になっております。

小樽幼稚園や双葉高校を卒業したOBの方、小樽にお住まいの二十代・三十代の方。みんなで集まって何かしませんか？お寺を舞台にみんなの夢が叶えばと願っております。ご意見・ご要望だけでも結構です。協力して何か楽しいことしませんか？



# 初盆法要のご報告

去る、八月十六日（土）午前十一時より、小樽別院本堂にて「初盆法要」を修行いたしました。

今年からおつとめした初盆法要は多くの参拝者で本堂がいっぱいになりました。どなた様もようこそのお参り、ありがとうございます。

初盆法要は、昨年のお盆以降に亡くなられて今年はじめてお盆を迎えられた方々を偲び、ご遺族の皆様とともにお念仏のみ教えを聞かせていただくご法縁としておつとめさせていただきました。普段ではあまり聞けない「重誓偈（律曲）」のおつとめ、雅楽による演奏も行われ、厳粛かつ盛大な法要となりました。また、当日は多くの方々から御懇志をご進納いただきましたこと併せて厚く御礼申し上げます。

この初盆法要は恒例法要として、来年度以降もつとめさせていただきます。一人でも多くの人々にお寺へ足を運んで下さるご縁になることを願っております。

# ご存じでしたか？

## 千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要のこと

千鳥ヶ淵戦没者墓苑とはどのような施設なのでしょうか？

かつて、日本における国家としての戦没者追悼施設としては、戦死した軍人、軍属を英霊として祀る靖国神社がありました。

靖国神社は内務省や陸軍省および海軍省の統括を受けていましたが、一九四六年に国の管理を離れ、宗教学法人に移行しました。そのため、一九五〇年代は、国家的な戦没者追悼施設自体が存在しないという状況でした。

それを受け第五次吉田内閣の頃に『無名戦没者の墓』に関する件が閣議決定され、一九五九年千鳥ヶ淵戦没者墓苑が完成しました。

施設自体は特定宗派の宗教性を帯びないため、仏教・神道・キリスト教等の各種宗教団体も行事や法要を行うようです。

私たちの宗門＝浄土真宗本願寺派では、千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要を、宗門として、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、毎年九月十八日に、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において修行いたしております。

本年は、第二十五代専如ご門主ご親修にて修行されます。いのちの尊さ、非戦・平和の大切さを次世代に語り伝えてゆくために宗門で勤められているご法要。もうすぐ戦後七十年という節目を迎える今、私たちは改めて平和の何たるかを考える必要があるのだと思います。

# お寺の行事カレンダー

## 10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
<span style="font-size: 2em;">←</span> <span style="font-weight: bold; font-size: 1.2em;">宗祖親鸞聖人報恩講</span> <span style="font-size: 2em;">→</span>						
19	20	21	22	23	24	25
						<span style="font-size: 2em;">←</span> <span style="font-weight: bold; font-size: 1.2em;">法友会報恩講</span> <span style="font-size: 2em;">→</span>
					○18:00～	○6:30～○18:30～
26	27	28	29	30	31	11/1

## 11月

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
<span style="font-size: 2em;">←</span> <span style="font-weight: bold; font-size: 1.2em;">樹心会唯信講報恩講</span> <span style="font-size: 2em;">→</span>						
○18:00～		○6:30～○18:30～				
9	10	11	12	13	14	15
常例布教 ●14:00～	常例布教 ●14:00～	常例布教 ●14:00～		常例布教 ●14:00～	常例布教 ●14:00～	常例布教 ●14:00～
16	17	18	19	20	21	22
常例布教 ●14:00～						
23	24	25	26	27	28	29
30						

和洋菓子

りりあん  
里李庵

牧田 敏雄

店舗 小樽市朝里2丁目13番15号  
電話 店舗(54)-6127

家電製品販売、修理、フランスベッド  
住宅設備機器販売、住宅リフォーム  
冷暖房設備・ロードヒーティング・融雪設備

お客様に愛される信頼とサービスの店

有限会社 西森電機商会

小樽市天神1丁目10番3号  
TEL(0134)24-0503  
FAX(0134)32-2217

新畳・表替・裏返・畳工事

やっぱり畳が落ち着く  
生き続ける伝統の技

(由) 木下畳店

小樽市山田町 8-6

☎・FAX 23-2245

広告募集
「おたる西別院だより」に掲載して下さる商店や業者等を募集しております。  
詳しくは **0134-22-0744** 別院だより担当者:森までご連絡ください。

# 別院門徒

## 物故者

（平成二十六年七月末現在）

### 小樽別院よりのお願いとお知らせ

小樽別院に登録されている代表者の方の連絡先が不明になっているご家庭が増えてきております。左記の場合には必要書類にご記入いただきご提出をお願いしておりますので必ずお寺までお申し出ください。よろしくお願いいたします。

- ①代表者または納骨堂管理者の転居
- ②代表者または納骨堂管理者が変更になる場合

※ご印鑑や印鑑登録証明・戸籍謄本、ご本人の署名が必要となる場合がございますので、事前にお電話にてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

尚、お盆・お彼岸等別院行事のある場合は、ご希望の日時での納骨やご法事等お受けできない場合がございますので、こちらも事前に別院に日程や時間をご相談ください。

お問い合わせは

電話 〇三三(四)三〇七四四

FAX 〇三三(四)二九四〇八〇

小樽別院寺務所まで



### 物品寄贈御礼

- 和室用座卓 一台

- 花瓶 一個 川村政敏様より

- 座布団 二十枚

- 夏用茶器一式

ご寄贈いただきありがとうございました。

### 通夜・葬儀の御案内

小樽別院会館ホールにて通夜・葬儀会場として使用できます。亡き方がくださった大切なご縁をぜひ菩提寺にて。

詳細につきましては寺務所までお問い合わせください。



（写真は会館ホール）



（写真は浄縁塔仏間）

▶小会場もございます（20名程度）

### テレホン法話

#### ●テレホン法話担当表

10/ 1 (水)~10/15 (水)	村田
10/16 (木)~10/31 (金)	西村
11/ 1 (土)~11/16 (日)	森
11/17 (月)~11/30 (日)	本田

TEL 27-1616

### 編集後記

短い夏もすぎ、秋の季節がやってきました。

小樽別院ではいよいよ報恩講もやってきました。今号の表紙には報恩講の夜と題した小樽別院の報恩講の写真が載っております。浄土真宗のお寺で一番大事な日、報恩講では昼も夜も人が集まり、お念仏が絶えないというような雰囲気を感じられ、私は非常に好きな一枚であります。

小樽別院ではもちろん、各説教所でも報恩講がございます。みなさんは是非ご参拝ください。私も初めて迎える小樽別院の報恩講、楽しみにしております。

津田

連絡先

**本願寺小樽別院**  
小樽市若松1丁目4番17号  
☎0134-22-0744  
FAX 0134-29-4080

編集委員

門徒委員 別院担当者  
平田 晴己 西村 玄介  
竹澤 知恭 森 敬信  
福川ヨシ子 本田 浄  
津田 造士

みんな仲良し  
**小樽幼稚園**

～まこと(いのち)の保育を行っています～

**親子遠足**  
 さくらんぼの前で  
 記念撮影♪



**天狗山登山**

年長のかとれお組さんと  
 登山チャレンジ!



**お祭りごっこ**  
 みんなで楽しく!



小樽幼稚園では、親鸞聖人が開かれた浄土真宗のみ教えに基づき、一人ひとりの園児に寄り添い「いのちの大切さ」「自然への感謝」「やさしい心」を育てる「まことの保育」に努めています。お絵かきや制作などのクラスでの活動の他に、プール遊びや、クラス合同のホールでのリズム遊びなどを通し、異年齢の交流を深めており、年長から年少までみんな仲良く遊んでいます。是非一度見学にお越しください。(年中見学可能です。事前にお電話でご連絡ください。)

● **小樽幼稚園に遊びに来ませんか?** ●

**公開保育**

10月15日(水) 10:00～12:00  
 21日(火) 10:00～12:00

小樽幼稚園の保育の様子をご自由にご覧ください。

**体験入園**

10月17日(金) 14:30～  
 25日(土) 10:00～

先生と一緒に体を動かしたり、制作をして遊びましょう。園バスの試乗もできます。

その他の日も見学できますので事前にお電話でご連絡ください。

**3歳のお誕生日を迎えたお友だちの途中入園を募集しております。**

詳しくはお電話でお問い合わせください。

学校法人 小樽龍谷学園

小樽市若松1丁目4番17号

**小樽幼稚園** TEL/FAX **0134-22-6536**

ホームページアドレス <http://www.otaru-youchien.com/>

